

宮城県利府高等学校 PTA 会報



鴻志

— 第74号 —

初代校長 橋本力先生書



総合学習



生徒会引継ぎ式



総合学習



生徒会選挙



開校式



陸上競技部全国大会壮行式



体育大会



交通安全講話



環境整備奉仕作業

文化部展示週間



文化部展示



茶道



日舞



□□原案作成 22年度卒業 佐藤 正啓

発行日/令和2年12月1日 発行/宮城県利府高等学校PTA会報編集委員会 〒981-0133 宮城県宮城郡利府町青葉台一丁目1-1
1-1-1 Aobadai,Rifu-chou,Miyagi-gun,Miyagi 981-0133 Japan TEL:022-356-3111 FAX:022-356-3112 <https://rifu-h.myswan.ed.jp>

印刷/株式会社鈴木印刷所

発行日は何日か確認する

体育大会

令和2年10月2日(金)



クラスTシャツ



「家族の会話」

校長 駒木 康伸

会員の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対しまして、多大なる御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症予防対策に御協力をいただいておりますことに、深く感謝いたします。

さて、御家庭でのお子さんとのコミュニケーションが、「飯・寝る」等の単語だけになっていませんか。あるいはスマートフォン等のメールだけのやりとりになっていませんか。きちんと家族での団欒があるでしょうか。「高校生だから一人での食事でも問題ない」と考えていないでしょうか。

子供の成長には、まず意識を変化させることが必要となります。続いて行動に変化が見られ、その行動が習慣となり、豊かな人間性に満ちた人格が形成されます。しかし、子どもの成長の過程で「家族との会話」がなければ、こうした変容は起こりません。

高校3年間は、情緒豊かな人間性を育むために大切な時期ですから、お子さんと直接会話をする機会を十分に持って欲しいと思います。

会員の皆様と地域の方々、さらに、各中学校の先生方にも御支援いただき、ともに協働し、子供の健やかな成長を見守っていきたくと思っています。今後とも会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

第37回 利府高校体育大会 結果

種目	女子	1年	2年	3年
借り物リレー (各年次毎1位)	男子	1年：1年4組	2年：2年1組	3年：3年1組
ミニ駅伝(全年次)		1年：1年5組	2年：2年7組	3年：3年2組
クラス対抗リレー (普通科各年次・Sp科全年次)		1位：3年3組	2位：3年4組	3位：2年3組
生き残り縄跳びレース (全年次)		1年：1年4組	2年：2年7組	3年：3年7組
縦割りリレー (全年次縦割りクラス)		Sp科：3年1組	1位：1年1組	一番生き残りの多い年次：1年次
		1位：1組	2位：2組	3位：7組

各年次順位

	1年次	2年次	3年次
1位	1組	1組	2組
2位	4組	7組	1組
3位	2組	2組	7組





陸上競技部



硬式野球部

ベスト8

県大会 代替大会



女子卓球部



女子ソフトテニス部

第3位



男子硬式テニス部

第3位



ハンドボール部

優勝



女子バスケットボール部



女子硬式テニス部



男子ソフトテニス部



水泳部 優勝



女子卓球部



男子卓球部



男子バスケットボール部

第5位

引退試合



フェンシング部



剣道部



水泳部 優勝



ソフトボール部 優勝



女子バレー部



弓道部

<p>新体操</p> <p>リボン 鈴木菜々花 第3位</p>	<p>水泳部(女子)</p> <p>50m自由形 谷口 美玖 第1位 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>50mバタフライ 谷口 美玖 第4位</p> <p>50m背泳ぎ 木村 優那 第5位</p> <p>50m平泳ぎ 渡部 渚 第3位</p> <p>100m背泳ぎ 渡邊 羽奈 第5位</p> <p>200m自由形 櫻井 結 第3位</p> <p>200mバタフライ 櫻井 結 第4位</p> <p>200m背泳ぎ 佐藤 結 第3位</p> <p>200m自由形 村主 七海 第6位</p> <p>200mバタフライ 村主 七海 第2位</p> <p>400m自由形 茂庭 佑里 第5位 (スポーツ庁長官特別賞)</p> <p>400mバタフライ 櫻井 梨乃 第3位</p> <p>800m自由形 茂庭 佑里 第4位</p> <p>2000m自由形 佐藤 結 第1位 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>2000mバタフライ 渡部渚・渡部菜・谷口 第3位</p> <p>4000m自由形 佐藤 結・渡部渚・村主・谷口 第4位</p> <p>4000mバタフライ 櫻井・佐藤結・茂庭・谷口 第4位</p> <p>8000m自由形 櫻井・山本・渡部菜・茂庭 第3位</p>	<p>水泳部(男子)</p> <p>4x400mR 氏家 遥香 第5位</p> <p>50m自由形 柴田 祐輝 第1位 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>50mバタフライ 関本 裕介 第7位</p> <p>50m背泳ぎ 佐々 睦人 第7位</p> <p>50m平泳ぎ 高橋 奎樹 第2位 (スポーツ庁長官特別賞)</p> <p>100m自由形 山内 祥平 第4位</p> <p>100m背泳ぎ 柴田 祐輝 第5位</p> <p>200m自由形 山内 啓斗 第4位</p> <p>200m背泳ぎ 山内 啓斗 第3位</p> <p>400m自由形 高山 大地 第5位</p> <p>1000m自由形 高山 大地 第2位 (スポーツ庁長官特別賞)</p> <p>2000m自由形 山内・関本・柴田 第3位</p> <p>2000mバタフライ 柴田・澤村・関本・佐藤聖 第2位</p> <p>4000m自由形 山内・関本・柴田 第4位 (スポーツ庁長官特別賞)</p> <p>4000mバタフライ 山内・関本・柴田 第4位</p> <p>8000m自由形 澤村・関本・高山 第4位</p> <p>8000mバタフライ 澤村・周防・菊地・高山 第5位</p>	<p>陸上競技部(女子)</p> <p>800m 菅田 瑠那 第4位</p> <p>1500m 菅田 瑠那 第4位</p> <p>400mH 鈴木 華凛 第4位</p> <p>七種競技 金子ひなた 第2位 (スポーツ庁長官特別賞)</p> <p>走高跳 小田嶋穂乃香 第2位 (スポーツ庁長官特別賞)</p> <p>走 高跳 小田嶋穂乃香 第2位</p> <p>三段 跳 鈴木くるみ 第5位</p> <p>砲丸 投 長野 智佳 第3位</p> <p>砲丸 投 高橋 優月 第6位</p> <p>円盤 投 長野 智佳 第4位</p> <p>やり 投 遊佐 祥太 第6位</p> <p>4x400mR 平塚・高梨・近藤・曾根 第4位</p>	<p>硬式野球部</p> <p>ベスト8</p>	<p>女子卓球部</p> <p>八種競技 遊佐 祥太 第1位 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>男子棒高跳 舟山 輝 第3位</p> <p>走高跳 遊佐 祥太 第6位</p> <p>砲丸 投 遊佐 和希 第5位</p> <p>砲丸 投 遊佐 和希 第5位</p> <p>円盤 投 遊佐 和希 第5位</p> <p>やり 投 遊佐 祥太 第6位</p> <p>4x400mR 平塚・高梨・近藤・曾根 第4位</p>	<p>女子ソフトテニス部</p> <p>1000m 曾根 翔 第5位</p> <p>4000m 曾根 翔 第4位</p> <p>8000m 高梨 有仁 第1位 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>1500m 野沢 悠真 第5位</p> <p>5000m 関宮 義雅 第4位</p> <p>110mH 高橋 海 第6位</p> <p>3000mSC 石堂 創 第6位</p> <p>3000mSC 千葉 唯登 第5位</p>	<p>男子ソフトテニス部</p> <p>ソフトテニス部 第1位 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>ソフトテニス部 (文部科学大臣特別賞)</p> <p>ソフトテニス部 第3位</p> <p>ソフトテニス部 第3位</p> <p>ソフトテニス部 第3位</p>	<p>男子バスケットボール部</p> <p>男子バスケットボール部 第5位</p>	<p>男子硬式テニス部</p> <p>男子硬式テニス部 第3位</p>	<p>男子卓球部</p> <p>男子卓球部 第5位</p>	<p>男子硬式テニス部</p> <p>男子硬式テニス部 第3位</p>	<p>男子硬式テニス部</p> <p>男子硬式テニス部 第3位</p>
--	--	---	---	---------------------------------	---	---	--	--	--	--------------------------------------	--	--

令和2年高総体代替大会結果

※今回はすべての競技が代替大会を行ったわけではありません。また、試合結果も例年の通り順位が出る形では無いものも多かったです。その中で入賞したものを紹介しています。ご了承ください。 ※各競技第1位は文部科学大臣特別賞、第5位はスポーツ庁長官特別賞を同時に受賞しています。

写真部 東北大会出展

初めての大会

写真部 廣田 晴

私たち写真部は、入部してから1年生3人かつ、全員が未経験者という中で活動をしてきました。その中で先生から写真甲子園という大会に3人で作品を出すと聞かされたときは驚きました。私たちはその時は、カメラの基本的な操作しか知らない初心者でしたが、互いに分からないところを教え合い利府高校の部活動をテーマとした写真を日々撮っていき、東北大会ベスト10という結果を残すことができました。これからも互いに教え合い技術を高めていきたいです。



奉仕作業



例年よりも遅い時期の発行となりましたが、発行に当たりご寄稿いただきました皆様にご心より感謝いたします。

編集委員一同

全国高校陸上競技大会 2020 出場

コロナ禍のIH代替大会を経て

陸上競技部 高橋 海

※高橋海くん、高梨有仁くん、遊佐祥太くんの三名が出場しました。

私たちは今回、インターハイの代替大会である、全国高校陸上競技大会 2020 に出場してきました。

本来は開催されないはずであった、全国大会の開催にあたり、開催して下さったこと、そして普段当たり前に出来ていたことの有難みを感じました。

陸上競技部として、伝統のインターハイ出場を守れたことはよかったですと思います。今回出場した3名とも、まだまだ満足のいく結果ではなかったのかと思いますが、3年次の2人は大学へのステップへ、2年次は部全体に還元し、来シーズンへの足がかりになるかと思っています。

今回に満足することなく、陸上競技部ともども応援されるチームになれるよう努力していきたいと思っています。

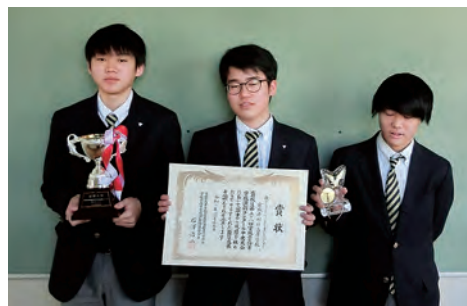


演劇部 東北地区高等学校演劇発表会 出場

東北大会に向けて

演劇部 山本 剣史郎

私たち演劇部は数年ぶりに地区大会を突破し、そこにとどまらず県大会も最優秀という成績で勝ち抜き、利府高校演劇部としては初めての東北大会出場を決めました。自分たちにとっては満足のいく演技ができなかったという思いがあり、強豪校が集まる東北大会で演じることに戦々恐々としています。しかし、これまで私たちの活動を支えてくださった方々への感謝の気持ちをもてば、怖くて仕方がない舞台上でも演じることが出来ます。観客の方々に楽しんでもらい、そして何かを感じてもらえることを第一に精一杯演じてきます。



編集後記

鴻志編集委員会

副委員長 新田 奈緒

令和2年度の鴻志編集委員会は、新型コロナウイルスの影響を受け、例年より遅れて活動をスタートしました。

鴻志第74号では、高校総体などの各種大会や学校行事が中止や縮小の中、逆境に負けずに部活動の仲間と励まし合って前向きに挑んだ代替大会などでの勇姿や、体育祭で明るく思い切り楽しむ利府高生らしい姿と興味深いクラスTシャツを特集しました。